

## 下水道工事における交通渋滞の緩和

新潟県土木施工管理技士会  
株式会社新潟藤田組  
土木工務部 主任  
風 間 渡  
Wataru Kazama

### 1. はじめに

本工事は住宅街で、主線幹線道路で国道・県道・私道路が複数あり交通量が多く、加えて道路幅が狭い等、制約が多い。沿線地域の方々においては、下水道工事に関しての関心が薄くそんな地域での工事施工にあたり、地元の皆様の要望や工事における問題点を洗い出し、円滑な工事を進めるために実施している内容について報告する。

#### 工事概要

- (1) 工 事 名：五十嵐第3排水区雨水枝線下水道工事
- (2) 発 注 者：新潟市西部地域下水道事務所
- (3) 工事場所：新潟市西区寺尾西2丁目地内
- (4) 工 期：平成26年8月1日～平成28年3月14日
- (5) 工事概要：小口径推進工 L=460.20m

### 2. 現場における問題点

当初計画は発進立坑位置が県道敷内にあり、片側交互通行で築造し推進する設計であったが、交差点内であり、迂回路や現状の交通量を考慮すると交通渋滞を招くことが予想されたことから、交通渋滞を緩和するための計画変更（発進立坑位置の変更）が必要となった。

発進立坑位置の変更については、施工時の工事

車両等の配置と機械スペースの確保に加え、立坑位置変更による支障物の確認並びに交通形態を考慮した計画となることが必要であった。

### 3. 工夫・改善点と適用結果

#### (1)立坑位置の変更

地域住民の方々からの車両の通行形態や混雑する時間帯、車両の交通量、日中の車利用などに関する情報収集とこの地区における迂回路等の道路網の現地調査を行い状況の把握を行った。

また、支障物件に関してはガス・水道・NTT管理者より導管図を頂き、導管図を基に出来るだけ支障物件の移設を減らすことができ、且つ、交通渋滞の発生を抑制することが出来る立坑築造位置を決定する必要から、試掘調査工事を実施して、試掘成果をもとに発注者及び埋設管管理者と複数

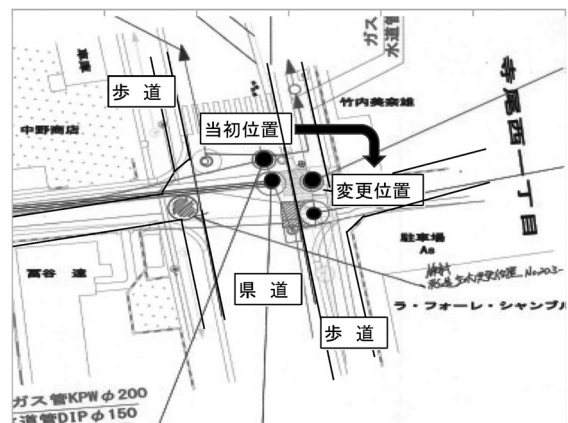


図-1 発進立坑位置変更図

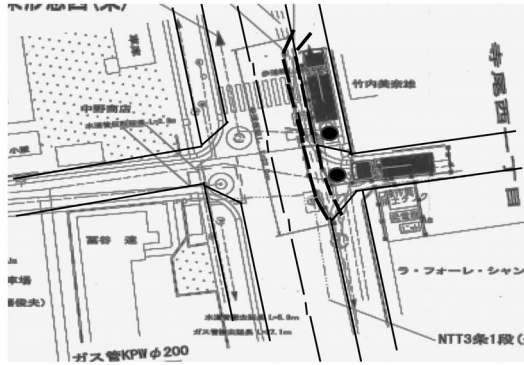


図-2 発進立坑作業形態図



図-3 作業状況

回の協議を重ね、図-1の通り発進立坑位置を変更する事により、県道での片側交互通行規制をす  
る事なく施工することが可能な計画とした。

## (2)施工時に於ける作業形態

地域住民の支障低減と負担を第一に考え、歩行者  
者通路を確保し、且つ安全に作業が出来る方法・  
作業形態を第一に、複数回にわたる現地での打合  
せと発注者との協議を繰り返し行い、施工時にお  
ける工事車両・施工機械の作業形態を検討し、図  
-2の通り計画し実行した。

上記の通り、市道本線は車両通行止めをする計  
画となったが、地元自治会をはじめ各戸の戸別訪  
問による工事案内と主旨説明により、関連自治会  
長はじめ地域の皆様から理解と協力を頂くことが  
でき、工事着工に至ることが出来た。戸別説明の  
際は施工方法等を納得して頂くため、複数回、足  
を運び粘り強く説明とお願いを繰り返しようやく  
理解して頂いた方もいたが、最終的に納得され協  
力頂いたことに感謝しております。

また、迂回路を設定し交通誘導員や工事案内板

を設置し、歩行者通路を確保しながら、地域住民  
の方の主要な生活道路である県道を片側交互通行  
で規制する事なく施工する事で、交通渋滞を招か  
ず、地域住民の方々に負担を掛けぬよう配慮した  
計画により、施工したことでクレーム等も無く工  
事を進めた。

以前に施工した工事の際は、施工途中における  
クレームも多く、発注者から最大限の配慮をした  
工事を行うよう話を頂いていたことから、今まで  
クレームがなかった事について施主をはじめ地域  
の皆様からも良い評価を頂いている。

なお、施工中においては、通行する地域の方々  
や車両等に対応するため、設計にこだわらない多  
くの誘導員の配置による丁寧な誘導・案内に徹し  
ていることが良い結果に繋がっているものと考え  
ている。

メインとなる推進工事は終わり、今後、取付け  
管等個々の家庭への接続工事となるので、各戸へ  
のガス・水道等の引き込み管や電気・電話等架線  
の損傷事故による、第三者災害防止に努め、協力  
頂いている各戸の皆様にご迷惑が及ばぬよう現場  
管理を徹底し完成に向け努力していきたいと考え  
ている。

## 4. おわりに

今回、担当している工事は、報告の通り、事前  
の調査・計画変更、地元調整等から始まり、支障  
物件の移設等から、工期も1年を超える長い工事  
となったが、直面した問題・課題に対し地域の方  
々の意向を尊重しながら、より良い解決策を見  
出す努力を続けることが、最終的に地域からの協  
力を得ることに繋がる解決策になるという良い経  
験を体験できた実感している。

本工事もあとわずかまで完成となるが、関係官庁  
との打合せ、地域の方との調整に努めて御理解と  
御協力を頂きながら工事を進めており、工事完成  
まで、地域の皆様方とさらにコミュニケーション  
を深める努力を現場従事者全員で取り組んでいき  
たいと思います。